

研究機関：広島大学

研究課題名	循環器病棟における患者・多職種参画型クリニカルパス改定に伴う評価 —患者・医療者・臨床指標による評価—
研究責任者名	広島大学病院 6階東病棟 看護師長 渡邊 多恵
研究期間	2021年11月15日(倫理委員会承認後)～2024年3月31日
対象者	2020年4月から2021年3月の間に、広島大学病院循環器内科、心臓血管外科で心筋梗塞、経皮的動脈弁置換術、冠動脈バイパス術、弓部動脈置換術 の手術を受けられた患者さん。
意義・目的	本研究の目的は、循環器疾患のクリニカルパス改定前後のパス活用に対する医療者評価、臨床指標評価(DPC 在院日数、逸脱要因、再入院率)、改定後の患者評価を行い、比較検討によりパス評価を行うことです。本研究により、クリニカルパス充実、患者満足度の向上、多職種連携の強化、DPCⅡ期以内での医療の促進への活動が期待でき、医療の質向上に寄与すると推察されます。

方法

心筋梗塞、経皮的カテーテル動脈置換術、冠動脈バイパス術、弓部置換術の治療を受けた患者さんのカルテから入院期間、経過、1か月以内の再入院状況について調査します。さらに、それまでに調査したデータと医療者への調査内容を合わせて比較検討を行います。

共同研究機関

共同の研究機関はありません。

試料・情報の管理責任者

広島大学病院 6階東病棟 看護師長 渡邊 多恵

個人情報の保護について

本調査へ資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出されても不利益が生じることはありません。本研究の成果は、関連学会での発表を予定していますが、個人を特定するような情報を公表することではなく、個人情報は保護します。研究終了後5年または結果の公表後3年のいずれか遅い日に回収した紙媒体は粉碎処理することとし、保存した電子媒体も完全消去します。また、調査結果は本研究の目的以外に使用しません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5500

広島大学病院看護部 6階東病棟 職名 看護師 藤下 祐依、渡邊 多恵